

## 科目区分：外国語科目（英語）

授業科目名	英語コミュニケーション III				学期	曜日	校時
英語名	English Communication III						
担当 教員名	小笠原 真司	単位数	1 単位	必修 選択	必修	前期 月曜日	4 校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>2冊のテキストを利用して、TOEICの対策も視点にいれながら、音声面の指導を中心に授業を展開していきます。かなり、学習量が多い授業ですのでしっかりついてきてください。TOEICの400点はクリアできるようにしたいと思います。もちろん、英語が得意な学生は、500点台、600点台を目指しましょう。</p> <p>授業は、テキストを利用して、構文を整理しながらCDを用いて、基本的な例文や会話文を聞いて、英語を繰り返す練習を行います。これはリピーティングという練習で、話す練習の基礎訓練ですが、リスニングの力を大きく伸ばすことができます。TOEICのリスニングのパートの得点を大きく伸ばしたいと思います。</p> <p>また、英文をできるだけ速く、要点をつかみながら読む練習もします。SkimmingやScanningなどの読むためのストラテジーを身につけられるように指導します。速読の力は、リスニングの力の伸びと大きく関連してきます。いわゆる訳読的な読みかたではなく、実践的な読みかたを身につけてもらいたいと思います。</p> <p>さらに、応用練習として、ペアで、まとまった内容を英語で話す練習を行います。ペアワークは大切な活動です。そのために、1回、英語の原稿を書いてもらう予定です。ライティングに関しても、基本的なパラグラフの書き方等を指導し、簡単な原稿を書けるようにします。相手の言う英文の内容を、まとめたり、質問したりする練習もペアワークで行います。</p> <p>また、ポップミュージック等を利用して、リズム、発音等の音声英語の指導も行います。英語の歌を聞き取れるようになりましょう。</p> <p>なお、決して、受身的な態度で授業に参加しないでください。授業の効果を高めるためにも学生は、極力欠席をさけ、積極的に授業に参加してください。英語力をつけるため、毎回、課題も出しますので、家庭学習もきちんと行うことを要求します。がんばって英語の力をつけてください。必ず1回目の授業から参加してください。授業に対する学生の積極的な取組みを期待します。</p> <p>なお、授業に関する質問や英語に関する相談は、授業終了後あるいは、研究室のオフィスアワーの時間帯にお願いします。</p>							
テキスト、教材等							
<p>教科書は、1回目の授業のとき紹介し、教室で販売します。また、必要に応じてプリント教材を使用します。</p> <p>使用教科書 リピーティングで学ぶ話すための基本構文 第3版 (Kinseido ¥1900) A Basic Training for Phrase Reading and Repeating 第2版 (Kinseido ¥1850)</p>							
対象学生	成績評価の方法				教員研究室		
2Tj	定期試験の結果を70%、小テストや授業中のアクティビティの結果を30%とし、総合的に評価します。						
授業計画							
第1回～第4回	リピーティング練習初級編	Skimming, Scanning	基礎	ポップソング	1、2		
第5回～第10回	リピーティング練習中級編、	Skimming, Scanning	応用1、	ポップソング	3、4、		
第11回～第14回	リピーティング練習上級編、	Skimming, Scanning	応用2、	ペアワーク	1		
第15回	定期試験						
オフィスアワー	火曜日	14:00～15:30					
	木曜日	12:30～14:00					
メールによる質問・問い合わせ	<a href="mailto:ogasa-s@net.nagasaki-u.ac.jp">ogasa-s@net.nagasaki-u.ac.jp</a>						